

2007年7月30日

HSBC ホールディングス PLC
2007年1-6月期決算－ハイライト

- 総営業収益は 23% 増の 420 億 9,200 万米ドル (2006 年上半期は 343 億 3,400 万米ドル)

上半期 :

- 純営業収益は 14% 増の 321 億 4,700 万米ドル (2006 年上半期は 282 億 9,500 万米ドル)
- グループ税引前利益は 13% 増の 141 億 5,900 万米ドル (2006 年上半期は 125 億 1,700 万米ドル)
- 親会社株主帰属利益は 25% 増の 108 億 9,500 万米ドル (2006 年上半期は 87 億 2,900 万米ドル)
- 平均投下資本利益率 (ROIC) は 18.4% (2006 年上半期は 17.2%)
- 普通株式 1 株当たり利益 (基本ベース) は 22% 増の 0.95 米ドル (2006 年上半期は 0.78 米ドル)

配当金と資本比率 :

- 2007 年第 2 中間期の普通株式 1 株当たり配当金は 0.17 米ドルで、すでに支払い済みの 2007 年第 1 中間期の普通株式 1 株当たり配当金 0.17 米ドルと合わせると、2006 年第 1 及び第 2 中間期の配当金に比べ 13% の増加
- Tier1 資本比率は 9.3%、総資本比率は 13.2%

HSBC ホールディングスの税引前利益は 141 億 5,900 万米ドル

HSBC の税引前利益は 141 億 5,900 万米ドルと、2006 年上半期に比べ 16 億 4,200 万米ドル（13%）増加した。

純利息収益は 182 億 3,000 万米ドルと、2006 年上半期に比べ 14 億 9,900 万米ドル（9%）増加した。

貸出金減損その他の信用リスク引当金繰入前の純営業収益は 384 億 9,300 万米ドルと、2006 年上半期に比べ 63 億 800 万米ドル（20%）増加した。

営業費用は 186 億 1,100 万米ドルと、2006 年上半期に比べ 24 億 7,200 万米ドル（15%）増加した。基調的に見ると、恒常為替レートベースで、営業費用は 10% の増加となる。

HSBC のコスト効率比率は 2006 年上半期の 50.1% に比べ 48.3% となった。

2007 年上半期の貸出金減損その他の信用リスク引当金繰入額は 63 億 4,600 万米ドルと、2006 年上半期に比べ 24 億 5,600 万米ドル増加した。

2007 年 6 月 30 日現在のグループの Tier1 資本比率と総資本比率はそれぞれ 9.3%、13.2% と高水準を維持した。

2007 年 6 月 30 日現在のグループ総資産は 2 兆 1,500 億米ドルと、2006 年 12 月 31 日に比べ 2,900 億米ドル（16%）増加した。

地域別の営業成績
税引前利益

	2007年6月30日		半期 2006年6月30日		2006年12月31日	
	(百万米ドル)	%	(百万米ドル)	%	(百万米ドル)	%
欧州	4,050	28.6	3,600	28.8	3,374	35.3
香港	3,330	23.5	2,654	21.2	2,528	26.4
その他のアジア 太平洋地域	3,344	23.6	1,657	13.2	1,870	19.5
北米	2,435	17.2	3,741	29.9	927	9.7
ラテン・アメリカ	1,000	7.1	865	6.9	870	9.1
	14,159	100.0	12,517	100.0	9,569	100.0
税金	(2,645)		(3,272)		(1,943)	
当期利益	11,514		9,245		7,626	
親会社株主帰属利益	10,895		8,729		7,060	
少数株主持分帰属利益	619		516		566	

カスタマー・グループ別の営業成績

	2007年6月30日		半期 2006年6月30日		2006年12月31日	
	(百万米ドル)	%	(百万米ドル)	%	(百万米ドル)	%
税引前利益						
個人向け金融サービス事業	4,729	33.4	5,908	47.2	3,549	37.1
商業銀行事業	3,422	24.2	2,862	22.9	3,135	32.8
コーポレート/インベストメント・ バンキング&マーケッツ事業	4,158	29.4	3,144	25.1	2,662	27.8
プライベートバンキング事業	780	5.5	600	4.8	614	6.4
その他	1,070	7.5	3	-	(391)	(4.1)
合計	14,159	100.0	12,517	100.0	9,569	100.0

スティーブン・グリーン・グループ会長のご挨拶

HSBCは2007年上半期に史上最高の業績を上げ、税引前利益は13%増の142億米ドル、1株当たり利益は22%増の0.95米ドルとなりました。

取締役会は、第2中間期の1株当たり配当金として0.17米ドルを承認しています。配当金は四半期配当のスケジュールに従って、スクリップ・オルタナティブにより2007年10月4日に支払われます。

この業績は、アジア全域およびコーポレート／インベストメント・バンキング&マーケッツ事業（「CIBM」）、商業銀行事業における素晴らしい業績に牽引されたものであり、これらの事業が米国における消費者金融事業の貸出金減損費用の増大および欧州における個人向け金融サービス事業の困難な状況を補いました。

また、この業績には2つの特別な事項からの寄与が含まれています。第1に、中国本土の合弁企業に対する当グループ持分の希薄化により、10億米ドルの帰属利益が計上されています。この特別な利益を除くと税引前利益は5%、帰属利益は13%の増加となります。第2に、今上半期における当グループの実効税率は18.7%と例外的に低いものでした。以下のご報告では、希薄化による利益の影響は除かれています。

収益の52億米ドル（16%）の増加に対し、コストは25億米ドル（15%）の増加であり、これによりコスト効率比率は49.7%へと改善しました。

利益成長を牽引したのはアジアで、香港では25%、その他のアジア太平洋地域では37%の成長となっています。ラテン・アメリカおよび欧州では、各々前年同期比で16%と13%の成長となりました。また、予想されたことですが、北米では貸出金減損の引当の増加により35%減となっています。ただし、当グループの2006年上半期の業績は、米国破産法の修正により、米国における例外的に低水準の貸出金減損費用の恩恵を受けたものであったことを申し添えておきたいと思えます。

カスタマー・グループ別では、商業銀行事業が前年同期比で20%増の利益を上げ、CIBMおよびプライベートバンキングの両事業でも少なくとも30%の利益増となっています。アジアにおける個人向け金融サービス事業も極めて好調な業績を上げており、税引前利益は前年同期比で38%増となっています。ただし、個人向け金融サービス事業全体では、税引前利益は2006年上半期に比較して20%の減少となりました。これは、英国における困難な状況と、以前から強調していた米国のコレスポンデント・モーゲージ事業の問題によるものです。米国のコレスポンデント・モーゲージ事業における当グループのエクスポージャーの再構築および縮小のための措置は順調に進捗しています。減損費用は昨年下半期を下回っており、また重要なことですが当グループの予想していた水準に収まっています。

当期の業績では保険事業が大幅に寄与しており、当グループでは保険事業を将来における成長の機会であると見ています。

戦略的な観点からは、当期の業績は世界最大、かつ最も収益力のある国際的な新興国市場銀行としての当社の地位の確立と、お客様のために先進国市場と新興国市場の架け橋としての活動を可能とする比類のないグローバル市場での事業範囲から、当グループが

生み出している価値を示すものです。

営業収益の大幅な成長は、成長市場への当グループの注力を反映するものであり、これにより強固な資本比率を維持し、株主への配当を増額しながらも、引き続き内部成長への投資を行うことが可能となっています。

全世界における事業拡大の機会の追求により、平均投下資本は170億米ドル増加しました。同時にグループのTier 1資本比率は9.3%と高水準を維持しています。とりわけ現在の経済環境、およびグループ内でこの資本を投入できる事業機会を考慮すると、これは競合優位に立っていると考えられます。

ますますグローバル化の進展する世界において、今日ご報告した成功を支えているのは、当グループのグローバル・ブランドの一端を担う誠実さであり、当グループではこれを明確な競合優位であると考えています。「HSBC」は10年にも満たない期間でインターブランド社（Interbrand）の「世界で最も価値のあるブランド」の23位になっており、また、最も急速に成長している金融サービスのブランドです。当グループは、ブランドおよびそれが世界中のお客様とコミュニティに約束する顧客サービスの確立に引き続き投資を行ってまいります。また当グループは、新たな市場および新規事業に対してもブランドの拡大を行ってまいります。

本年すでに発表した通り、当グループは世界経済を変貌させている3つの主要なトレンドが生み出している事業機会を最大限に活用するため、事業の焦点の転換を行ってまいります。この3つの主要なトレンドの第1は、新興国市場が成熟市場よりも急速に成長しているということです。2番目のトレンドは、世界の貿易が世界のGDPよりも急速に成長しているということです。そして、第3のトレンドは全世界において寿命が伸びているということです。

したがって、当グループではアジア、ラテン・アメリカ、中東および他の開発途上経済諸国と、低成長の先進経済諸国の間で概ねバランスを保つように事業の位置づけを行ってまいります。世界経済の発展に伴い、新興国市場と他の地域との貿易および投資の流れは拡大しており、HSBCの卓越した成長基盤となっています。当グループは83の国および地域において事業を展開しており、その事業間のリンクが比類のない収益機会を生み出し、競合上優位を保つことが可能となっています。長寿化も、当グループの保険および退職関連事業にとっての成長機会を生み出しています。これらの要因すべてが、2007年上半期に達成した成長に寄与しています。

すべての社員に対し、この業績への貢献に感謝したいと思います。当グループの成長は、お客様、株主、そして社員のための「Joining Up the Company」の戦略により生み出されている価値を明確に示すものです。

「ザ・ワールド・ローカル・バンク（地域に根付いたグローバルな金融グループ）」として、HSBCの果たすべき責任は事業経営の成功だけではありません。気候変動は現代において最も重大な問題の1つであり、そのため当グループは全世界における個人・企業・政府による、この問題に対処するための行動を支援するため、国際的に活動を展開する4団体と協力して1億米ドルを投じるプロジェクト、「HSBC Climate Partnership」を5月に発表しました。また、気候変動の経済学に関するスターン報告書の著者であるニ

コラス・スターン卿が、経済開発と気候変動に関するHSBCの特別顧問への就任を承諾されたことを喜ばしく思っています。

展望

世界経済は依然として極めて好調です。米国経済の不調は他国における経済活動の制約となっておらず、いわゆる経済の「デカップリング（切り離し）」が明確になりつつあります。住宅およびサブプライム・ローンに関連した重大な問題に直面している米国においてさえ、消費者支出は心強いほど底堅く、労働市場も堅調です。金融市場における活動も、過去2~3ヶ月こそクレジット市場に関する不安から減速しているものの、引き続き史上最高の水準にあり、より高度な商品のストラクチャリングやリスク管理サービスにより、以前に例を見ない規模でリスクの分散や拡散が可能となっています。そして、この好況が経済活動を支えています。

HSBCでは、今年のグローバル経済は昨年の3.8%に近い成長率になると推定しています。新興国市場はとりわけ好調を維持し、資本財に対するグローバルな需要を刺激し、ドイツ、日本、そしてその他の主要な輸出国の経済を加速させると見られます。2007年の米国では住宅市場の不調が経済成長を抑制し、成長率は2%程度にとどまる可能性が高いと予想されます。

ただし、リスクも存在します。グローバル金融市場における過剰な流動性により、資産価格のさらなる混乱が引き起こされる可能性があります。リスクに対する認識も極めて急速に変化し、クレジット・スプレッドや流動性に影響を与える可能性があります。そして、市場参加者がリスクに対するエクスポージャーを同時に調整しようとする時には、市場が不安定になる可能性があるというのは歴史の示すところです。市場の不安定化の潜在的なきっかけとしては、インフレの復活によるグローバル金利の上昇、保護主義への動き、米国住宅市場の不振の波及効果の増大などがあります。HSBCは、このような状況において生じる機会を活用するために、常にバランス・シートの強さを重視し、強固な流動性と健全な資本比率を維持してきました。当グループでは、リスクに対しては依然として慎重なスタンスを取っています。

HSBCの戦略は明確です。当グループの収益源は、地理的な側面でも、カスタマー・グループの側面でも極めて多様です。当グループのネットワークは、全世界のお客様に対してサービスを提供する上で、強力な機会を提供します。HSBCでは、特にダイレクト・チャンネルにおいて、テクノロジーにより顧客サービスと営業効率の両者を改善してまいります。HSBCの事業の見通しは、発展途上国市場における事業の力強い成長の持続の見込みと、それらの事業の国際的な連携の増大により支えられています。HSBCは現在の確固たる地位を基盤として前進する絶好の機会に恵まれています。将来の進捗をご報告できることを楽しみにしています。

マイケル・ゲーガン・グループ CEO、2007年を振り返って

HSBCの上半期の業績は持続可能な成長と、サブプライム貸出の困難な課題の克服の大幅な進捗を示すものであり、また同時に「Joining Up The Company」戦略による、当グループの国際的なネットワークによる真の価値が発揮されていることも示されています。

世界最大かつ最も収益力のある国際的な新興国市場銀行

当グループの新興国市場事業は引き続き極めて高水準の業績を上げています。当グループでは、これらの事業の内部成長に対する投資を優先的に行っており、引き続き戦略的な投資により事業価値を実現しています。今月は、グルーポ・バニスモ (Grupo Banistmo) の事業統合を進め、ラテン・アメリカ5ヶ国における同社事業をHSBCブランドに転換しました。

HSBCは、世界で最もダイナミックな経済の原動力となっている国々において強力な事業基盤を有しています。BRICs諸国は2025年までに世界の経済成長の40%を占めると予測されていますが、HSBCは中国本土において最大の国際銀行です。またインドにおいても第2位である上、急速に拡大中であり、ブラジルにおいても第3位の国際銀行です。ロシアにおいても当グループは個人向け金融サービス業務を開始するための銀行免許を5月に取得しました。

お客様のための「Joining Up the Company」

HSBCの広範にわたる国際的なネットワークは、国内あるいは地域内の競合他社では類を見ることのできない、魅力的なグローバル・サービスをお客様に提供できることを意味しています。当グループでは、お客様のために国や事業の境界を越えて、グループの事業の一体化を進めています。CIBM事業では、新興国市場主導および融資事業に注力した戦略の成功により、当上半期は史上最高の業績を達成しました。商業銀行事業も、当グループの国際性とお客様のために構築しているダイレクト・チャンネルがお客様に便益を提供し、力強い成長となりました。

個人向け金融サービスの税引前利益は20%の減少となりましたが、これは主に米国におけるサブプライム・コレスポンデント・モーゲージ事業における業績と、英国での不振によるものです。一方、アジアにおける税引前利益は38%の増加となっています。

当グループでは、全世界における個人向け金融サービス事業の一体化を進めており、5月には市場をリードするプレミアム商品である、HSBCプレミアを国際的なカスタマーのためのシグネチャー・アカウントとして35ヶ国においてリニューアルしました。当初の反応は力強いものであり、この価値ある事業セグメントにおいて、グローバル市場で大きなシェアを獲得できる可能性があります。当グループでは、新たに400万人のマス富裕層のお客様を長期的に獲得できると見えています。

プライベートバンキング事業は極めて力強い業績を上げており、とりわけ商業銀行事業などの他のカスタマー・グループとの密接な関係を引き続き活用することにより、ほぼ20億米ドルの顧客資産を紹介により獲得しています。投資事業では、最近香港において最初のマルチ・マネジャーの中国株式ファンドを立ち上げましたが、その際には同地域

における当グループの個人向け金融サービスおよびプライベートバンキングのお客様から10億米ドルを上回る資金の調達を行うことができました。

また、テクノロジーの効果的な利用により、お客様に対して世界中で質の高いサービス、および商品を提供できる能力を強化しています。グループ全体にわたって使用中核的なシステムを構築することにより、各事業による開発およびサポート・コストの分担や、旧システムの廃止、そして販売やサービスにおけるベスト・プラクティスの共有などを行うことが可能になっています。

クレジットカード事業においては、全世界においてグローバル・クレジットカード・システム、「WHIRL」を導入しましたが、同システムはすでに16ヶ国で8,600万の口座にサービスを提供しており、これによってお客様に対するサービスを改善するとともに、当グループの口座当たりのITコストを16%削減することができました。HSBCの当システムには、毎日4万人の新たなクレジットカードのお客様が加わっています。

また、HSBCでは、グループ全体にわたって個人および法人向けの新たなインターネット・プラットフォームの導入も進めています。これは現在までに25ヶ国で導入が完了しています。インターネットによる売上は2006年の上半期に比較して68%増となっています。この新たなサービスの基盤の整備により、ダイレクト・バンキングを含む新しいサービスの導入が可能になっています。当グループのオンラインによるダイレクト・バンキングおよび貯蓄サービスであるHSBCダイレクトは、米国および台湾での初期の成功を受けて、2007年の上半期には韓国とカナダに導入されました。アジアにおいては、HSBCダイレクトのお客様は12万人を上回り、預り残高の総計は9億米ドルを超えています。米国事業も引き続き力強い業績を上げており、今年になって22万5,000の新規口座が開かれ、オンラインの預り残高は120億米ドルに達しています。HSBCダイレクトのビジネスモデルの魅力的な特徴の1つは、当グループの既存のチャンネルでは到達することのできない新たなお客様を獲得することができるということです。HSBCでは、他の市場へのHSBCダイレクト・モデルの導入を目指し、引き続き開発を行ってまいります。

ラテン・アメリカにおいては、当グループは新たに買収したグループ・バニスマの各社に対して、パナマを皮切りにHSBCのシステムの導入を進めています。また、当グループではラテン・アメリカの全地域にわたって完全なキャッシュ・マネジメント・システムを提供するためにHSBCnetの導入を進めています。

アジアにおいて首位の国際銀行

HSBCは、アジア事業において過去最高の業績を上げました。税引前利益はすべての主要市場で大幅に増加し、香港における事業では25%、中国本土では69%、インドでは39%、インドネシア115%、マレーシア13%、シンガポール44%の成長となりました。

香港の業績は極めて力強い内容でした。当グループはウェルス・マネジメントでは主導的な地位にあるため、香港での事業は当上半期における好調な株式市場の動きと、香港証券取引所において上場する中国本土の企業の着実な増加により恩恵を受けることのできる良い位置にありました。また、当グループは、貿易金融事業および保険事業における香港での主導的な金融機関としての地位を引き続き活用しました。香港を経由した中国本土への外国投資の増大により、香港のサービスおよび不動産部門は加速しており、

HSBCにとって収益増のさらなる機会となりました。

当上半期においては、中国本土における株式投資への強い関心も、上海証券取引所への上場に対する好条件となり、当グループの合弁企業である、交通銀行、中国平安保険（香港）有限公司、中国工商銀行の3社すべてが新たな資本調達に成功しました。この結果として当グループの持分は希薄化しましたが、この影響は新たに調達した資金に対する当グループの持分のプラス効果を大幅に下回るものであり、結果として当グループの業績には約10億米ドル、または1株当たり0.09米ドルの水準の帰属利益が計上されました。これは特別利益として見なされるべきものです。

HSBCは中国本土における主導的な国際銀行としての地位を強化しました。当グループの中国本土での事業は、現地での会社設立を受けて力強く成長しており、預金、資産共に前年同期比で各々50%および26%の成長となっています。税引前利益は69%増の4億7,300万米ドルに達しました。当グループは、既に国際銀行としては最大であった支店ネットワークに対してさらに7つの支店を加え、事業の成長を支えるために800人を上回る人員の採用を行いました。

インドにおいては、CIBM事業における力強い業績により、税引前利益は39%の増加となりました。HSBCは、大幅に顧客数を拡大し、特に消費者金融の分野において事業の内部成長に対する巨額の投資を行いました。コスト効率比率は55%と前年同期とほぼ同等の水準を維持しています。

当グループは、インドネシアでも消費者金融事業の育成に投資を行っており、当上半期においては20の新たな支店を開設しました。インドネシアにおける税引前利益は115%増の5,800万米ドルとなっています。長期的に大きい可能性を持った市場であるベトナムでは、テックコムバンク（Techcombank）の株式の追加取得で合意しました。またベトナムでのHSBCグループの事業拡大も急速に進めています。当上半期において、当グループの税引前利益は117%増の2,100万米ドルとなり、人員も3割強の増加となっています。

アジア全体では、商業銀行事業は顧客数拡大の取り組みの成功もあって、極めて良好な業績を上げています。アジアにおける商業銀行のお客様の数は過去1年間で6%増加しており、中国本土および韓国では特に力強く伸びています。

アジアにおけるHSBCの成功は、主にグループの事業の一体化によりスキルの移転と国際的な到達力の活用によります。とりわけインベストメント・バンキング事業においては、アジア事業は特にカストディおよび国際的なファンドグループの管理業務からの証券サービス収益において主導的な市場シェアを獲得しています。また逆に、当グループでは、グループ自体の資産運用グループおよび他社が先進諸国で販売するための市場商品の開発も行っています。キャピタル・マーケット業務、送金サービス、商業銀行のお客様の海外での取引の相互紹介、アジア全域における消費者金融事業の拡大においても同様の連携が存在しています。

ラテン・アメリカにおける事業の統合と開発は順調

ラテン・アメリカにおける税引前利益は16%の増加となりました。同地域における10年前の営業拠点数はごく少数でしたが、現在では約4,000に達しており、ラテン・アメリカ

カ事業は今やグループ全体の利益の8%を占めています。当グループはラテン・アメリカにおける最大級の国際銀行の1つであり、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンの主要市場および新たに中米全域において継続的に事業の構築を進めています。

当上半期、中米における主導的な銀行であるグルーポ・バニスモの2006年の買収後初めて業績が完全に反映されました。税引前利益に対する寄与は4,900万米ドルと、当グループの予想通りの水準であり、事業統合は順調に進展しています。

ブラジルは、クレジット・パフォーマンスの改善および力強い資産の増加が税引前利益の43%の増加に寄与しました。担保付貸出およびインボイス・ファイナンスの成長により、持続的な収益成長の態勢が整い、また、既存のお客様に対する保険販売も伸びています。

メキシコにおいては、当グループは市場シェアを伸ばし、収益成長は23%強と、依然として力強いものでした。HSBCは過去5年間で極めて強力な事業を構築しており、利益は既に過去の投資額の合計を上回っています。2007年の上半期には、お客様の獲得数は予想を上回るペースで増加しましたが、引当金の増加が収益の拡大を概ね相殺したなど、関連費用が利益に悪影響を与えました。また、引き続きクレジットカード事業でシェアを伸ばしており、「*Tu Cuenta*」パッケージ・アカウントおよびプレミア・アカウントはすべて前年同期比で45%を上回る成長となっています。

アルゼンチンにおいては、2006年5月にタイミング良く買収したバンカ・ナチオナーレ・デ・ラボロ (Banca Nazionale del Lavoro) の事業統合の成功の寄与により、税引前利益は14%増の9,500万米ドルに達しました。また、CIBM事業と現地の経営陣との協力により、HSBCはアルゼンチンにおいて多国籍企業の現地事業に対する外国為替および輸出入部門において主導的な地位を維持しています。

中東では内部成長が寄与

当グループの中東における事業は、サウジアラビアを除いて力強く成長し、税引前利益は31%の増加となりました。高水準を維持する原油価格に支えられて、中東地域がインフラストラクチャー整備と外部への投資を拡大する中で、アラブ首長国連邦およびエジプトにおける事業は好調な業績を上げました。

中東地域の高成長と貿易の増加の結果、商業銀行事業の収益は増加しています。CIBM事業では、同地域における高水準の流動性と機関顧客の需要により、仕組み商品などのデリバティブ、および他の商品が力強い売上を上げました。

新たな支店と顧客サービス・ユニットの展開、ダイレクト・セールス・チームの拡大、およびHSBCプレミア商品の販売により、個人のお客様の数が増大し、収益も上昇しています。

ただし、サウジアラビアでは、昨年下半期の株式市場の下落により2007年上半期の市場の動きが抑制されたため、同国事業からの寄与は低下しました。

欧州：新興国市場への投資、および英国の商業銀行事業からの力強い収益

新興欧州諸国では、トルコにおける個人向け金融サービスの基盤の整備を目的とした25の支店の開設と101台のATMの設置に伴い、同国での利益は34%の増加となりました。今年の下半期においても、さらなる拡大を計画しています。また、当グループはロシアにおいて個人向け金融サービス事業を開始するための免許を取得し、今後3年間で35支店の開設を目指しています。

また、ポーランド、チェコ共和国、スロバキアで個人のお客様向けの事業を拡大する予定であり、中欧および東欧の他の市場も検討しています。当グループはアルメニアでも新たに支店を開設しており、カザフスタンでも事業の拡大を行っています。また、グルジアでの事業開始のために免許の申請を行いました。

欧州大陸では、フランスでの事業が前年同期比で力強い成長を示し、CIBM事業の成長に牽引されて利益は2億1,900万米ドルの増加となりました。

英国の商業銀行事業も依然として好調でした。税引前利益は18%増加し、顧客基盤は拡大しています。そしてHSBCは今や、新興企業のお客様に最も推奨される銀行となっています。テクノロジーに対する投資により、顧客サービスと生産性は改善しています。またビジネス・ダイレクトはポジショニングの成功により、2006年9月の開始以来4万人の顧客を集め、そのうち60%が当グループにとって新規のお客様です。

しかし、欧州での個人向け金融事業は前年同期比で34%の減少となりました。これは主に2つの要因によるものです。第1の要因は、当グループの観点からプライシングがリスクを適切に反映していないと見られるセクターへのクレジット・エクスポージャーを意図的に縮小したことです。第2は、英国における未承認の借越手数料の払い戻しによる影響で、これによりコストは2億3,600万米ドルの増加となりました。これは業界全体の問題であり、HSBCが行った払い戻しの額は、お客様に対して公正で透明性の高い対応を行うという当グループのコミットメントを示すものです。実際、当グループは、法的な明確性と、お客様および当グループの事業に対する裁定を確立するために、この件を法廷の決定に付すというOFT（英国公正取引庁）との合意を歓迎しています。グループ全体では、英国における個人向け金融サービス事業が当グループ全世界の利益に占める比率は通常7%未満です。

しかしながら、依然として極めて困難な事業環境であることに変わりはありません。当グループでは、引き続きお客様の獲得と維持に注力しており、当座勘定の料金設定における競争と規制による困難な課題を相殺するものとして、ウェルス・マネジメントおよび保険に成長機会があると見ています。

当グループは、手数料ベースのパッケージ・アカウント、プレミア・アカウント、個人向け金融サービスの貯蓄性商品において力強く成長しており、これが貸出マージンの減少の相殺に寄与しました。上半期において平均預り残高は14%増の830億米ドルとなりました。HSBCのファースト・ダイレクトは、指標が存在する15年間を通じて、英国における最も推奨されるサービスであり、当グループが全世界でダイレクト・チャネルを構築する上で、この経験から学ぶことができます。

北米におけるモーゲージ・サービス・ポートフォリオ縮小が順調に進展

北米内では、カナダおよびバミューダにおける事業において税引前利益が22%の増加となりました。米国事業は2006年の上半期の業績と比較すると税引前利益で43%の減少となりましたが、2006年の下半期との比較では力強い回復を示しており、税引前利益では15億米ドルの改善となる18億米ドルとなっています。

この収益性の回復は、コレスポンデント・チャネルのモーゲージ事業において、損失の可能性を管理するために取った措置の成功を反映したものです。貸出金減損引当金は、昨年末に計上された水準から大きい変化はありませんでした。モーゲージ・サービスにおける上半期の貸出金減損費用は7億6,000万米ドルであり、既に計上していた引当金に対して7億1,500万ドルのローンの償却を行いました。結果として、減損引当金は21億米ドルと昨年同期比で概ね同水準でした。当グループでは、モーゲージ・サービスのコレスポンデント事業におけるサブプライム・モーゲージの引き受けの停止、最もリスクの高い顧客に対する回収業務の一元化、主要な事業部門におけるマネジメントの変更を行い、また数ヶ月後に金利リセットの行われるお客様を認識し、積極的に通知を行うプロジェクトを導入しました。当グループでは、多くの貸し手とは異なりローンと回収を自ら行っているため、これらの関係を直接的に管理することが可能です。これは、当グループがお客様とより前向きに対話を行い、この困難な状況においても積極的に事業を管理できるということを意味しています。

当グループは、2006年末にこのプロジェクトを開始して以来1万9,000人のお客様のうち5,000人を上回るお客様に対するローンの変更を行いました。これは当グループとお客様の双方に利益をもたらすものです。

米国経済の回復の早さという好条件もあり、当グループではモーゲージ・サービスのエクスポージャーを414億米ドルまで縮小することができました。これは年初の水準から80億米ドルの減少であり、下半期もこの動向が続くことを期待しています。また、当グループはモーゲージ・サービス事業で下半期にリセットとなる残高をほぼ4分の1減となる53億米ドルに縮小しました。

米国における他の分野の消費者金融全般においては、米国事業は支店ベースの消費者向け貸出に牽引され、引き続き期待に応える業績となっています。サブプライム・モーゲージ業界の規模縮小と大半の「安価な」仕組み商品の停止により、業界全体にわたって引き受けおよびプライシングの規律がより厳格になっているのが明らかになりつつあります。これにより、お客様の獲得にかかるコストは低下しつつあり、お客様の維持率も改善しています。結果として、2007年上半期の米国の消費者金融事業の収益は、2006年の上半期および下半期と比較して、各々2%と5%の増加となっています。

米国の個人向け金融サービス事業では、当グループは住宅モーゲージ貸出以外の分野において拡大を続けました。当グループは、カリフォルニア州、コネチカット州、ニュージャージー州、フロリダ州、ワシントンDCにおける支店網の拡充、および極めて好調なHSBCダイレクトの展開を引き続き行っています。

新興市場およびファイナンスへの注力を反映してCIBM事業は史上最高の業績

CIBM事業を新興市場主導およびファイナンス中心として位置付けた戦略が奏功し、利益は32%増で過去最高の40億米ドルとなりました。アジア（中東を含む）およびラテン・アメリカにおける事業の寄与は、2007年上半期のCIBM事業全体の税引前利益の49%を占めています。

アジアにおいては、従来の外国為替および証券業務に加えて、他地域との間の投資フローの増大に対するファイナンス、およびストラクチャリングやヘッジング・ソリューションの提供における成功により、税引前利益は4億7,900万米ドル（36%）の増加となりました。また、欧州においても、ロンドンとパリのCIBMの商品拠点が欧州内およびグローバルのHSBCネットワークの両者に対して広範な商品を提供し、力強い成長を達成しました。

特に明るい材料は、取引が行われる両方の国におけるHSBCのプレゼンスを活用した、大規模なクロスボーダー・ファイナンス取引の委任の増加でした。これには、サウジ・ベーシック・インダストリーズによる116億米ドルでのGEプラスチックの買収、シンガポール・テレコミュニケーションズによる7億5,800万米ドルでのパキスタンのワリッド・テレコム30%の取得、サウジアラビアのナショナル・チタニウム・ダイオキサイドによる12億米ドルでのライオンデル・ケミカル米国の無機化学事業の買収、ドバイのドライドックスによる6億5,000万米ドルでのシンガポールのパンユナイテッド・マリーンの買収などが含まれます。

またHSBCは、マコーリーによるO2エアウェーブの買収のための18億英ポンド、およびナショナル・グリッド・ワイアレスの買収のための34億英ポンドのファイナンス・ファシリティの主幹事を務めました。

HSBCは業界における受賞で評価されていることを喜ばしく思っています。HSBCは、ユーロマネー誌の2007年アワード・フォー・エクセレンスで、グローバルにおける「ベスト・リスク・マネジメント・ハウス」に選ばれました。HSBCはまた、ユーロマネーのアワードでグローバルにおける「ベスト・キャッシュ・マネジメント・ハウス」も獲得しています。デット・キャピタル・マーケットにおいては、HSBCはブルームバークのアジア現地通貨債券リーグテーブルで1位、英ポンド債券リーグテーブルで1位、国際債券リーグテーブルで6位となっています。

保険事業において収益の流れを構築

HSBCのお客様のうち、現時点で当グループの保険商品を利用しているのは15%未満です。保険事業はカスタマー・グループ全体にわたって当グループに多大な貢献をしており、長期的にはグループ全体の税引前利益の5分の1を占めると当グループでは考えています。

当グループではこれに向けて、経営陣の強化、「HSBCインシュアランス」ブランドの開始、成長に向けてのポジショニングの変更を行い、保険事業でトップ10に入ることを目標とすることで取り組みを開始しました。当グループでは、終身保険および投資事業に注力しており、また一般的な保険における戦略的な優先パートナーとの協力、および当グループの顧客維持水準の改善に注力してまいります。

当グループでは過去3ヶ月において、3つの保険関連の案件を発表しました。当グループが生命保険、年金、投資および退職サービス事業を構築しているフランスにおいては、以前の合弁パートナーのスイス・ライフから、生命保険、損害保険、災害保険の会社であるエリサの残り50%の株式を2億2,900万ユーロで取得しました。

英国では、HSBC銀行はアビバと提携して「HSBCインシュアランス」ブランドの下でジョイント・ベンチャーを設立する計画です。

インドでは、当グループはカナラ・バンクおよびオリエンタル・バンク・オブ・コマーズとともに、ジョイント・ベンチャーの生命保険会社であるカナラHSBCライフ・インシュアランスを設立する計画です。新会社は、合計で4,000万人に達する両銀行のお客様にアクセスが可能で、拡大途上にあるインドの生命保険市場における成長基盤を提供します。

プライベートバンキングはグローバルでの富の創造に支えられ力強い成長

プライベートバンキング事業においては、力強い経済的な背景と好調な世界各地の不動産および株式市場に伴う富の蓄積に牽引されて、顧客資産の額および仕組み投資商品の販売が力強く成長しています。顧客資産は11%成長して3,700億米ドルに達しました。プライベートバンクにおける手数料収益は15%増加して過去最高の8億1,100万米ドルとなりました。これには、お客様の紹介という面での当グループ内の商業銀行とプライベートバンクの間の協力の改善や、CIBMのストラクチャリングの能力の活用による商品の開発も寄与しています。

グローバルのクレジット環境

米国のサブプライム・モーゲージを除けば、今年上半期におけるクレジット環境は全世界において全般的に良好なものであり、減損の発生も当グループの法人融資全体にわたって引き続き低水準でした。また明るい材料として、英国における無担保の個人向け融資においても、過去2年間において貸出金減損の水準は高止まりしていたにも関わらず、最近の引き受け分に関してはパフォーマンスの好転が見られています。

高水準の流動性および高利回りの債券に対する需要、そして高水準のレバレッジに対する投資家の意欲は、過去においても企業のバランス・シートの再構築を支えてきました。ただし、当グループでは、特に世界の大半においてリスク・プレミアムと金利が上昇トレンドにあるため、投資家のセンチメントが変化する可能性に対して注意を払い続けてまいります。

明確な今後の方針

経営陣は明確な戦略を持っており、また上半期において当グループは力強い業績を達成しました。HSBCでは、今年の後半もこの業績を基盤として前進してまいります。当グループは、お客様の利益のために全グループを一体化し、それにより収益を拡大することに集中しています。当グループでは、テクノロジーを利用したビジネスプロセスの大幅なリエンジニアリングによりコストの増大の抑制に注力しています。HSBCにはさらに価値を発揮できる大きな潜在力があると確信しており、その実現を目標としてまいります。

2007年上半期			2007年 上半期	2006年 上半期	2006年 下半期
百万英ポンド	百万香港ドル	半期	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		半期			
7,188	110,611	税引前利益	14,159	12,517	9,569
5,531	85,112	親会社株主帰属利益	10,895	8,729	7,060
43,143	48,372	配当金	6,192	5,270	3,499
		期末			
59,738	936,374	総株主持分	119,780	101,381	108,352
68,347	1,071,319	自己資本総額	137,042	116,636	127,074
489,168	7,667,605	顧客勘定	980,832	833,742	896,834
1,072,485	16,810,965	総資産	2,150,441	1,738,138	1,860,758
519,445	8,142,187	リスク加重資産	1,041,450	872,893	938,678
英ポンド	香港ドル	普通株式1株当たり	米ドル	米ドル	米ドル
0.48	7.42	利益（基本ベース）	0.95	0.78	0.62
0.48	7.34	利益（希薄化後ベース）	0.94	0.77	0.62
0.27	4.13	配当金 [†]	0.53	0.46	0.30
5.04	79.05	純資産	10.10	8.71	9.24

株式情報

0.50米ドル：発行済株式	117億1,300万	114億8,100万 2,020億米ドル	115億7,200万
時価総額	2,150億米ドル	ル	2,120億米ドル
株価（終値）	9.15英ポンド	9.52英ポンド	9.31英ポンド

	1年超	3年超	5年超
2007年6月30日までの総株主リターン ^{††}	101.2	129.1	156.6
ベンチマーク：			
FTSE100	117.1	163.8	168.5
MSCI			
ワールド	124.2	161.4	197.2

[†] 2007年第2中間期の1株当たり配当金0.17米ドルは2007年6月30日の為替レートで換算。配当金は必要に応じて2007年9月24日の為替レートで英ポンドもしくは香港ドルに転換される。

^{††} 総株主リターン (TSR) は「2006年年次報告書および財務諸表」の282ページで定義されている。

	2007年 上半期 %	2006年 上半期 %	2006年 下半期 %
財務比率 (%)			
平均投下資本利益率 [†]	18.4	17.2	12.8
平均総株主持分利益率	19.1	18.1	13.4
税引後平均総資産利益率	1.19	1.12	0.88
税引後平均リスク加重資産利益率	2.30	2.21	1.65
効率比率および収益構成比率 (%)			
コスト効率比率	48.3	50.1	52.5
総営業収益に対する：			
- 純利息収益比率	43.3	48.7	49.7
- 純手数料収益比率	24.9	24.4	24.6
- 純トレーディング収益比率	13.1	12.4	11.1
資本比率 (%)			
- Tier1資本比率	9.3	9.4	9.4
- 総資本比率	13.2	13.4	13.5

[†] 平均投下資本は、平均総株主持分+引当金にじかに戻し入れた償却済み営業権—HSBCホールディングスの平均発行済み優先株—実効的なキャッシュフロー・ヘッジと売却可能有価証券に係る平均未実現利益/(損失)準備金として計測される。この計測は当初の投下資本とその後の利益を反映したものである。

2007年上半期			2007年 上半期	2006年 上半期	2006年 下半期
百万 英ポンド	百万 香港ドル		百万 米ドル	百万 米ドル	百万 米ドル
22,116	340,348	受取利息	43,567	35,785	40,094
(12,862)	(197,934)	支払利息	(25,337)	(19,054)	(22,339)
9,254	142,414	純利息収益	18,230	16,731	17,755
6,339	97,557	受取手数料	12,488	10,441	10,639
(1,012)	(15,569)	支払手数料	(1,993)	(2,061)	(1,837)
5,327	81,988	純手数料収益	10,495	8,380	8,802
1,701	26,178	純利息収益を除くトレーディング収益	3,351	3,112	2,507
1,097	16,874	トレーディング業務に係る純利息収益	2,160	1,149	1,454
2,798	43,052	純トレーディング収益	5,511	4,261	3,961
444	6,828	公正価額で表示されている金融商品からの純収益	874	260	397
507	7,804	金融投資からの利益（損失控除後）	999	493	476
546	8,406	利息およびその他の希釈からの利益	1,076	—	—
128	1,969	受取配当金	252	222	118
2,019	31,069	純既経過保険料	3,977	2,834	2,834
344	5,297	その他の営業収益	678	1,153	1,393
21,367	328,827	営業収益合計	42,092	34,334	35,736
(1,826)	(28,117)	純既発生保険金および保険契約者債務の変動	(3,599)	(2,149)	(2,555)
19,541	300,710	貸出金減損費用およびその他の信用リスク引当金前純営業収益	38,493	32,185	33,181
(3,222)	(49,576)	貸出金減損費用およびその他の信用リスク引当金	(6,346)	(3,890)	(6,683)
16,319	251,134	純営業収益	32,147	28,295	26,498
(5,295)	(81,480)	人件費	(10,430)	(8,992)	(9,508)
(3,565)	(54,856)	一般管理費	(7,022)	(6,065)	(6,758)
(415)	(6,382)	有形固定資産償却	(817)	(748)	(766)
(173)	(2,672)	無形資産償却	(342)	(334)	(382)
(9,448)	(145,390)	営業費用合計	(18,611)	(16,139)	(17,414)
6,871	105,744	営業利益	13,536	12,156	9,084
317	4,867	関連会社および合弁会社からの利益分配金	623	361	485
7,188	110,611	税引前利益	14,159	12,517	9,569
(1,343)	(20,663)	税金	(2,645)	(3,272)	(1,943)
5,845	89,948	当期利益	11,514	9,245	7,626
5,531	85,112	親会社株主帰属利益	10,895	8,729	7,060
314	4,836	少数株主持分帰属利益	619	519	566

2007年上半期			2007年 上半期	2006年 上半期	2006年 上半期
百万 英ポンド	百万 香港ドル		百万 米ドル	百万 米ドル	百万 米ドル
資産					
8,304	130,168	現金および中央銀行預け金	16,651	24,343	12,732
11,547	180,990	受取為替	23,152	12,425	14,144
6,457	101,214	香港政庁債務証書	12,947	12,588	13,165
211,782	3,319,641	トレーディング資産	424,645	299,295	328,147
17,380	272,430	公正価額で表示されている金融資産	34,849	16,855	20,573
74,401	1,166,215	デリバティブ	149,181	104,665	103,702
107,049	1,677,977	銀行貸付金	214,645	162,482	185,205
462,870	7,255,383	顧客貸付金	928,101	814,209	868,133
116,204	1,821,473	金融投資	233,001	192,334	204,806
4,281	67,097	関連会社および合弁会社持分	8,583	7,795	8,396
19,174	300,542	営業権および無形資産	38,445	34,544	37,335
7,472	117,121	有形固定資産	14,982	15,277	16,424
17,040	267,088	その他の資産	34,166	27,542	33,444
8,525	133,624	前払金および未収収益	17,093	13,784	14,552
1,072,486	16,810,963	資産合計	2,150,441	1,738,138	1,860,758

2007年上半期			2007年 上半期	2006年 上半期	2006年 下半期
百万 英ポンド	百万 香港ドル		百万 米ドル	百万 米ドル	百万 米ドル
負債および自己資本					
負債					
6,457	101,213	香港流通紙幣	12,947	12,588	13,165
64,223	1,006,676	銀行預り金	128,773	83,139	99,694
489,168	7,667,605	顧客勘定	980,832	833,742	896,834
10,144	158,999	支払為替	20,339	9,532	12,625
156,198	2,448,371	トレーディング負債	313,193	228,116	226,608
37,886	593,860	公正価額で表示されている金融負債	75,966	64,354	70,211
71,958	1,127,933	デリバティブ	144,284	103,660	101,478
114,328	1,792,064	社債	229,239	209,309	230,325
1,488	23,327	退職給付債務	2,984	3,722	5,555
17,206	269,702	その他の負債	34,500	31,669	29,824
18,418	288,691	保険契約債務	36,929	15,663	17,670
8,407	131,779	未払費用および繰延収益	16,857	12,584	16,310
1,797	28,166	引当金	3,603	2,286	2,859
11,722	183,741	劣後負債	23,504	20,404	22,672
1,009,400	15,822,127	負債合計	2,023,950	1,630,768	1,745,830
自己資本					
2,921	45,787	資本金	5,857	5,741	5,786
3,907	61,242	株式発行差金勘定	7,834	7,236	7,789
15,879	248,892	その他の準備金	31,838	26,394	29,380
37,031	580,453	留保利益	74,251	62,010	65,397
59,738	936,374	株主持分合計	119,780	101,381	108,352
3,348	52,462	少数株主持分	6,711	5,989	6,576
63,086	988,836	自己資本合計	126,491	107,370	114,928
1,072,486	16,810,963	自己資本および負債合計	2,150,441	1,738,138	1,860,758

	2007年 上半期 百万米ドル	2006年 上半期 百万米ドル	2006年 下半期 百万米ドル
売却可能投資：			
－持分に計上される公正価値利益（損失）	1,162	(476)	2,058
－処分または減損時に損益計算書に振り替えられる公正価値利益	(783)	(319)	(325)
キャッシュフロー・ヘッジ			
－持分に計上される公正価値利益	395	147	1,407
－損益計算書に振り替えられる公正価値変動	(568)	(177)	(2,021)
関連会社および合弁会社の持分変動シェア 為替差額	186	(44)	64
確定給付型年金制度関連の保険数理差利益（損失）	2,293	3,203	1,472
	2,028	1,477	(1,555)
	4,713	3,811	1,100
直接的に持分に計上される項目関連の税金	(455)	(196)	152
当期に直接的に持分に計上される収益費用総額	4,258	3,615	1,252
当期利益	11,514	9,245	7,626
以下に帰属する当期総認識収益費用	15,772	12,860	8,878
－親会社株主	14,950	12,292	8,235
－少数株主持分	822	568	643
	15,772	12,860	8,878

	2007年 上半期 百万米ドル	2006年 上半期 百万米ドル	2006年 下半期 百万米ドル
営業活動によるキャッシュフロー			
税引前利益	14,159	12,517	9,569
調整項目:			
税引前利益に含まれるキャッシュ以外の項目	8,434	5,681	9,275
営業資産の変動	(65,685)	(106,213)	(67,056)
営業負債の変動	123,248	136,184	101,194
為替差額消去	(5,871)	(8,203)	(3,911)
投資活動からの純利得	(2,225)	(752)	(1,262)
関連会社および合弁会社の利益シェア	(623)	(361)	(485)
関連会社から受領した配当金	146	32	65
確定給付型年金制度関連への寄与	(970)	(236)	(311)
税金	(2,217)	(1,983)	(2,963)
営業活動による純キャッシュ	68,396	36,666	44,115
投資活動によるキャッシュフロー			
財務投資購入	(248,734)	(181,454)	(104,862)
財務投資売却手取金	237,481	177,762	96,012
有形固定資産購入	(965)	(803)	(1,597)
有形固定資産売却手取金	1,368	915	1,589
無形資産購入	(451)	(352)	(500)
子会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(323)	(5)	(1,180)
子会社売却による純キャッシュ流入	—	23	39
関連会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(9)	(208)	(377)
関連会社売却手取金	—	319	555
投資活動に使用された純キャッシュ	(11,633)	(3,803)	(10,321)
財務活動によるキャッシュフロー			
普通株式資本の発行	116	414	596
優先株式の発行	—	374	—
値付け目的による自社株式の純購入および売却	220	(141)	187
株式報奨およびストックオプション報奨のための自社株式の購入	(807)	(526)	(49)
株式報奨の権利確定およびオプション権利行使による自社株式の譲渡	58	137	36
劣後ローン資本の発行	563	3,716	2,232
劣後ローン資本の返済	(87)	(273)	(630)
親会社株主への配当金	(3,591)	(3,202)	(2,725)
少数株主持分への配当金	(460)	(533)	(177)
財務活動に使用された純キャッシュ	(3,988)	(34)	(530)
現金および現金同等資産の純増加（減少）	52,775	32,829	33,264
期首現在の現金および現金同等資産	215,486	141,307	178,626
現金および現金同等資産に関する為替差額	4,023	4,490	3,596
期末現在の現金および現金同等資産	272,284	178,626	215,486